

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

宮崎市長 清山 知憲 殿



提出者

住 所 宮崎市大字跡江760番地

氏 名 伸洋土木株式会社

代表取締役 米丸 順也

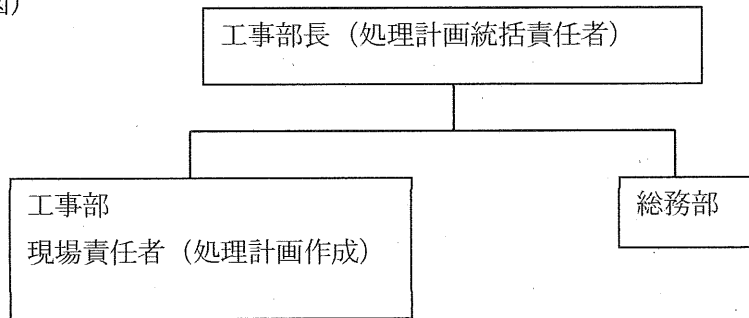
電話番号 0985-47-0996

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	伸洋土木株式会社
事業場の所在地	宮崎市大字跡江760番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	666,000千円
③従業員数	21人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	安定型混合廃棄物	廃プラ	汚泥	
	排出量	1361.8t	805.5t	6.5 t	1.0 t	0.8 t	
	(これまでに実施した取組) 処理計画作成時に検討し、分別・再生利用を増加させ処分量が減少するよう努めた。						
② 計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	安定型混合廃棄物	廃プラ	汚泥	
	排出量	600 t	150 t	3.0 t	0.5 t	0.5 t	
	(今後実施する予定の取組) 受注する工事の内容により排出量が違うため、過去の実績により計画排出量を算出した。 前年と同じく処理計画作成時に検討し排出の抑制に努めます。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場にて、がれき類・木くずは発生後すぐに処分場（中間処理場）へ排出。廃プラ等はボックスを設置し、確実に分別を行い排出する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記内容に加え、処分方法に従いさらに分別を徹底させる。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	安定型混合廃棄物	廃プラ	汚泥	
	全処理委託量	1361.8 t	805.5 t	6.3 t	1.0 t	0.8 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	1.9 t	1.6 t	6.3 t			
	再生利用業者への処理委託量	1359.9 t	803.9 t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						
	委託基準に従って処理業者を選定し書面による委託契約を交わし適正処理に努めている。						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	安定型混合廃棄物	廃プラ	汚泥	
	全処理委託量	600 t	150 t	3.0 t	0.5 t	0.5 t	
	優良認定処理業者への処理委託量			3.0 t			
	再生利用業者への処理委託量	600 t	150 t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
前年度と同じく、委託基準に従って処理業者を選定し書面による委託契約を交わし適正処理に努める。							
※事務処理欄							

産業廃棄物処理計画書 集計表

(別紙)

単位：t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	安定型 溶合廃 棄物	廃プラ	汚泥	合計	
①現状 (令和4年度実績)		排出量	1,361.8	805.5	6.3	1.0	0.8	2,175.4	
②計画 (令和5年度目標)		排出量	600.0	150.0	3.0	0.5	0.5	754.0	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状 (年度実績)		自ら再生利用を行った量						0.0	
②計画 (年度目標)		自ら再生利用を行う量						0.0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状 (年度実績)		自ら熱回収を行った量						0.0	
		自ら中間処理により減量した量						0.0	
②計画 (年度目標)		自ら熱回収を行う量						0.0	
		自ら中間処理により減量する量						0.0	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項									
①現状 (年度実績)		自ら埋立処分を行った量						0.0	
②計画 (年度目標)		自ら埋立処分を行う量						0.0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状 (令和3年度実績)		全処理委託量	1,361.8	805.5	6.3	1.0	0.8	2,175.4	
		内訳	1.9	1.6	6.3			9.8	
		優良認定処理業者へ処理を委託した量						2,163.8	
		再生利用業者へ処理を委託した量	1,359.9	803.9				0.0	
		認定熱回収業者へ処理を委託した量						0.0	
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量						0.0	
②計画 (令和4年度目標)		全処理委託量	600.0	150.0	3.0	0.5	0.5	754.0	
		内訳			3.0			3.0	
		優良認定処理業者へ処理を委託する量						750.0	
		再生利用業者へ処理を委託する量	600.0	150.0				0.0	
		認定熱回収業者へ処理を委託する量						0.0	
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量						0.0	